

## 令和7年度犬山市歴史まちづくり協議会 次第

日時 令和8年2月20日（金）

13時30分～15時30分（予定）

場所 犬山市役所2階202・203会議室

### 1 会長の選任、副会長の指名

### 2 報告事項

(1) 令和7年度歴史まちづくり計画関連事業について

【資料1、1-1、1-2、1-3、1-4】

(2) 歴史的建造物の保存活用と町並み景観の維持向上に向けた取組みについて

【資料2、2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6】

### 3 協議事項

(1) 令和7年度犬山市歴史まちづくり賞表彰物件について

【資料3、3-1、3-2、3-3、3-4】

(2) 犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）の改訂について

【資料4、4-1、4-2、4-3、4-4】

(3) 令和7年度進行管理・評価シート（案）について

【資料5】

### 4 その他

犬山市歴史まちづくり協議会 委員名簿

令和7年6月1日～令和9年5月31日

区 分	氏 名 【敬称略】	所属等	備考
学識経験者	越澤 明	北海道大学名誉教授	
	苅谷 勇雅	元文化庁文化財監査官	
	赤塚 次郎	犬山市文化財保護審議会会長	
	中村 真咲	名古屋経済大学犬山学研究センター長	
	下間 久美子	國學院大學観光まちづくり学部教授	
関係施設の 所有者等	成瀬 淳子	公益財団法人犬山城白帝文庫理事長	
	阿部 直樹	日本庭園有楽苑所長	
行政機関	浅井 隆徳	愛知県一宮建設事務所長	
	辻 光代	愛知県県民文化局文化部文化芸術課 文化財室長	
	湯浅 健司	愛知県都市・交通局都市基盤部 公園緑地課長	
その他	岡田 雅隆	一般社団法人犬山市観光協会会長	
	石田 芳弘	一般社団法人犬山祭保存会会長	

オブザーバー	山尾 耕平	中部地方整備局建政部 都市調整官	
--------	-------	------------------	--

犬山市：教育委員会歴史まちづくり課  
都市整備部都市計画課

## 令和7年度歴史まちづくり計画関連事業について

## 1. 犬山市歴史的風致維持向上計画の進行管理に関わる事業の進捗状況について

## (1) 犬山市歴史まちづくり協議会専門部会の開催

- ・犬山市歴史まちづくり専門部会を開催し、犬山市歴史的風致維持向上計画に位置づけた事業の進捗報告を行うとともに、専門的な事項について審議いただいた。

令和7年7月25日 令和7年度第1回犬山市歴史まちづくり協議会専門部会

## 【報告事項】

- ①令和7年度歴史まちづくり計画関連事業について

## 【協議事項】

- ①令和7年度犬山市歴史まちづくり賞の実施について
- ②文化財保存事業費補助金事業及び景観形成事業について

令和7年11月13日 令和7年度第2回犬山市歴史まちづくり協議会専門部会

## 【報告事項】

- ①令和7年度歴史まちづくり計画関連事業について

## 【協議事項】

- ①令和7年度犬山市歴史まちづくり賞表彰候補物件について
- ②(仮)犬山城下町景観づくりの手引き(案)等について

## (2) 中部歴史まちづくりサミット【資料1-1】

- ・年に一度中部地方整備局管内(愛知・岐阜・三重・静岡)の歴史的風致維持向上計画の認定を受けた18都市の首長等が一堂に会して歴史まちづくりに関わる様々な課題について情報交換をする。令和7年度は愛知県岡崎市で開催された。

日時：令和7年11月11日(火)14時00分～17時00分

会場：岡崎市図書館交流プラザ リぶらホール(愛知県岡崎市)

内容：①開会挨拶(岡崎市長、中部地方整備局長)

- ②基調講演『東海道の歴史的風致』

(岡崎市歴史まちづくり協議会会長 瀬口哲夫氏)

- ③いいこと・いいもの発見！市長・町長の

わがまちワンポイント自慢

(犬山市、西尾市、名古屋市、郡上市、美濃市、岐阜市、伊賀市、明和町、亀山市、浜松市、伊豆の国市)

※犬山市は原市長より、「犬山祭に見る歴史的風致」にまつわる官民共同の取り組みについて発表した。

- ④パネルディスカッション「街道とまちづくり」

(進行：瀬口哲夫氏、パネリスト：岡崎市、津島市、恵那市、三島市)



中部歴史まちづくりサミットの様子

## 2 犬山市歴史的風致維持向上計画に位置づけた事業の進捗状況について

### (1)歴史的建造物等の保存・活用に関する事業

#### ①犬山城大手門枳形跡（犬山市福祉会館跡地）整備事業【資料1-2】

- ・犬山城大手門枳形跡の一部である犬山市福祉会館跡地について、令和7年9月18日に官報告示され、史跡犬山城跡に追加指定された。
- ・犬山城大手門枳形跡（犬山市福祉会館跡地）については、「史跡犬山城跡整備基本計画」（令和7年6月策定）で、「犬山城入口ゾーン」として、犬山城の価値と魅力の発信拠点、犬山城見学の出発点と位置づけ、江戸時代の大手口から城内へのルートや堀や土塁の規模を体感できる場所となるよう整備を行う。
- ・令和7年度は史跡整備及び史跡内に設置する便益施設（トイレ・休憩所）の基本設計を実施している。また、基本設計に伴い、地元説明会、市民説明会、関係団体へのヒアリングを実施した。

#### <史跡整備基本設計>

委託先：株式会社フジヤマ名古屋支店

#### <便益施設基本設計>

- ・公募型プロポーザル方式（応募：10者）により受注者選定を行った。

委託先：合同会社斎藤信吾建築設計事務所

#### <地元説明会>

日時：令和7年11月22日（日）15時00分～16時30分

場所：犬山市役所2階205会議室

対象：近隣住民、周辺町内会、関連団体（犬山城のボランティア団体、まちづくり団体など）、市議会議員

参加者数：25名

#### <市民説明会>

日時：令和8年1月11日（日）15時00分～16時30分

場所：犬山市役所2階205会議室

対象：市内在住、在勤、在学の人（広報誌、SNS等で周知）

参加者数：14名

#### <ヒアリングを行った関係団体>

- ・犬山グッドウィルガイド(外国人向けガイドボランティア団体)
- ・ナイスで犬山(日本人向けガイドボランティア団体)
- ・犬山市心身障害児(者)父母の会
- ・精神障がい者家族会 犬山しらゆり会
- ・犬山市身体障害者福祉協会

#### ②文化財保存事業費補助金事業

- 歴史的な建造物を地域の資産として残していくため、登録有形文化財や歴史的風致形成建造物の修理事業に係る費用の一部を助成する。
- ・令和7年度当初予定していた歴史的風致形成建造物1件に対する助成事業については、所有者から辞退の申し出があったため、事業を見送った。
- ・令和9年度助成希望がある町家1件について、歴史的風致形成建造物指定に向けた実測調査等を実施している。

### ③景観形成助成金事業

・景観計画によって定められた景観形成促進地区における景観の保全を目的とした修景・改修事業及び景観重要建造物、歴史的建築物の修景事業の費用の一部を助成する。助成にあたっては、有識者3名から構成される「景観アドバイザー会議」で審議を行ったうえで採否を決定した。

**令和7年度助成件数：4件**

#### i 景観重要建造物（枝町車山蔵）の修景事業 1件

##### ア 枝町車山蔵（景観形成建造物）に対する助成

- ・東面扉の修繕
- ・外壁の塗装
- ・屋根瓦の積みなおし
- ・鉄骨柱脚の修繕



枝町車山蔵（修景前）



枝町車山蔵（修景後）

#### ii 歴史的建築物の修景事業 2件

##### ア 個人住宅（大本町通り）に対する助成

- ・北側外壁の板金貼り
- ・瓦の葺き替え
- ・左官壁の補修
- ・塀板金の塗装



歴史的建築物 i（修景前）



歴史的建築物 i（修景後）

##### イ 個人住宅（坂下大本町）に対する助成

- ・屋根の補修工事
- ・東側外壁の漆喰塗り
- ・1階前面格子の造作



歴史的建築物 ii（修景前）



歴史的建築物 ii（修景中）

## iii 良好な景観形成のための工作物（門）の新築事業 1件

## ア 個人住宅（魚新通り）の門の新築に対する助成



門の新築（新築前）



門の新築（新築後）

## (2) 歴史的景観等の保存・活用に関する事業

## ① 広告物アドバイザーによる現地確認、ガイドラインの周知

・ 広告物アドバイザーと犬山市職員により、年2回城下で屋外広告物の掲出状況について現地確認し、各店舗に対してチラシを配布して犬山市屋外広告物ガイドラインの周知を行った。

・ 令和7年5月24日に実施した第1回現地確認の結果、ガイドラインに適合しない広告物を掲出しているとアドバイザーが判断した物件の所有者に対して、8月から文書を配布し、屋外広告物ガイドラインへ適合するよう改善を依頼した。

・ 改善を依頼した物件については、令和7年10月26日に実施した第2回現地確認の際、改善がみられるかフォローアップ調査を実施した。その結果、壁面への貼り紙の減少、のぼり旗の撤去などの改善が行われていることが確認できた。



第1回現地確認の様子

## ② 犬山城下町まちなみだよりの発刊・配布【資料1-3】

・ 景観や屋外広告物に関する最新のトピックを周知するため、城下町の住民や店舗（約1,100戸）を対象に、年2回（7月、1月）「犬山城下町まちなみ便り」を発刊・配布した。また、犬山市ホームページ上で公開した。

### (3) 地域の伝統文化や歴史的な祭礼行事等の伝承に関する事業

#### ① 犬山祭伝承保存事業

- ・「犬山祭の車山行事」（ユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形民俗文化財）で使用する用具の修理や復元新調事業を助成する。令和7年度は2件の復元新調事業を助成している。

#### i 中本町「西王母」水引幕復元新調事業

- ・中本町の車山「西王母」の水引幕<sup>1</sup>2面（前・後）の復元新調事業を助成する。  
※令和6～8年度にかけて4面全ての復元新調を実施予定。



中本町山車「西王母」



中本町水引幕復元新調事業監修の様子

#### ii 寺内町「老松車」車輪復元新調事業

- ・寺内町の車山「老松車」の車輪一式、芯棒<sup>2</sup>包み金物一式の復元新調事業を助成する。



寺内町山車「老松車」



寺内町車輪復元新調事業監修の様子

<sup>1</sup> 犬山祭の車山のうち、下山（したやま、上から三段目の層）の舳組の下に装着する細長い帯状の幕のこと。

<sup>2</sup> 犬山祭の車山のうち、車輪間をつなぐ水平材のこと。

## (2) 民俗文化財保存伝承事業

- ・市内の民俗文化財保存伝承団体が行う後継者育成事業を助成する。令和7年度は26団体に対して補助金を交付した。
- ・市内の民俗文化財保存伝承団体が行う用具の修理事業を助成する。令和7年度は1団体が実施する神楽屋台の修理（脱落した装飾の修理等）に対して補助金を交付した。



神楽屋形全景（修理後）



装飾修理箇所（修理前）



装飾修理箇所（修理後）

## 3. その他

### (1) 横山住雄氏旧蔵資料について【資料1-4】

- ・犬山市文化財保護審議会委員であった郷土史家の横山住雄氏旧蔵資料を令和7年3月に一括で犬山市が寄贈を受けた。寄贈資料の内、近代の絵葉書・パンフレット類を中心とする歴史資料約300点については、犬山市文化史料館で保管し、図書資料等約6,500点については、市から名古屋経済大学犬山学研究センターに寄託した。
- ・犬山市文化史料館では、犬山市と対岸の各務原市をつなぐ「犬山橋」（選奨土木遺産）が令和7年に100周年を迎えたことを記念して、寄贈資料約50点（パンフレット、絵葉書等）を活用し、企画展を開催した。また、企画展に合わせて、古写真と現在の様子を見比べながら実際に犬山橋周辺を歩くワークショップ「古写真とぶらり犬山橋を歩く」を実施した。

企画展名：犬山橋竣工100周年記念企画展「犬山橋—View of INUYAMA BRIDGE」

展示期間：令和7年12月4日～令和8年1月28日

- ・名古屋経済大学犬山学研究センターでは、令和7年度、図書資料等を書架へ配架した。今後、犬山市をはじめとした地域の郷土研究に活用できるようにするため、整理作業を進めている。



越澤会長・原市長ご面談(R7. 11. 24)



企画展での展示の様子①



企画展での展示の様子②



企画展関連ワークショップの様子(R8. 1. 17)



企画展で展示したパンフレット・古写真の一部(横山住雄氏旧蔵資料)

第11回

# 中部歴史まちづくりサミット

in 岡崎

令和7年11月11日(火)

岡崎市図書館交流プラザ リぶらホール



# プログラム

14:00	<u>開会挨拶</u> 岡崎市長 内田 康宏 中部地方整備局長 森本 輝
14:10	<u>基調講演</u> <u>「東海道の歴史的風致」</u> 岡崎市歴史まちづくり協議会 会長 名古屋市立大学名誉教授 瀬口 哲夫 氏
14:45	<u>いいこと・いいもの発見！</u> <u>市長・町長のわがまちワンポイント自慢(前半)</u> 西尾市副市長、郡上市副市長、伊賀市長、 美濃市長、明和町長、浜松市副市長
15:00	休憩
15:20	<u>いいこと・いいもの発見！</u> <u>市長・町長のわがまちワンポイント自慢(後半)</u> 伊豆の国市長、亀山市長、岐阜市長、 名古屋市副市長、犬山市長
15:35	<u>パネルディスカッション</u> ファシリテーター：瀬口 哲夫 氏 パネリスト：岡崎市長 内田 康宏 氏、 恵那市長 小坂 喬峰 氏、 三島市長 豊岡 武士 氏、 津島市副市長 加藤 隆志 氏
16:45	<u>共同宣言・記念撮影</u>
16:55	<u>閉会挨拶</u> 掛川市長 久保田 崇

## 基調講演

# 『東海道の歴史的風致』

## 講師紹介



岡崎市歴史まちづくり協議会会長  
名古屋市立大学名誉教授

瀬口 哲夫氏

### プロフィール

1978年より豊橋技術科学大学助教授、1996年より名古屋市立大学芸術工学部教授。同大芸術工学部長を経て、同大名誉教授。建築を中心とした歴史的資産を活かしたまちづくり、都市景観や土地利用を考慮した都市計画について調査研究を行っている。主な著書に「景観法とまちづくり」、「中部の都市を探る」(以上共著)など。

岡崎市景観審議会会長、岡崎城跡整備委員会委員長などを務める。

## パネルディスカッション

### テーマ:街道とまちづくり

東海道や中山道など、日本を代表する歴史的な街道を有する歴まち都市の市長・副市長に、各都市の取り組みをご紹介いただくとともに、街道がもたらす「交流」について、意見交換を行います。

### パネリスト



岡崎市  
市長  
内田 康宏氏



恵那市  
市長  
小坂 喬峰氏



三島市  
市長  
豊岡 武士氏

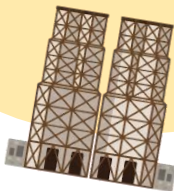


津島市  
副市長  
加藤 隆志氏



## いいこと・いいもの発見！ 市長・町長のわがまちワンポイント自慢

各都市の首長等が自らプレゼンターとなり、わがまちイチオシの魅力をご紹介します。



### プレゼンター

西尾市副市長	近藤 芳英 氏	伊豆の国市長	山下 正行 氏
郡上市副市長	置田 優一 氏	亀山市長	櫻井 義之 氏
伊賀市長	稲森 稔尚 氏	岐阜市長	柴橋 正直 氏
美濃市長	篠田 啓介 氏	名古屋市副市長	松雄 俊憲 氏
明和町長	下村 由美子 氏	犬山市長	原 欣伸 氏
浜松市副市長	内藤 伸二郎 氏		



### 第十一回 中部歴史まちづくりサミット共同宣言

中部地方には、数多くの歴史ある建造物が現存し、また先人から受け継がれた祭礼行事や文化など、そこに住む人々の生活に地域固有の歴史や伝統が色濃く反映され、地域ごとに独自の趣と情緒が感じられます。

本日、徳川家康公の生誕の地であり、古来より交通の要衝として栄え、唯一無二の八丁味噌造りが継承されるまちである、ここ岡崎市において、かつて街道によりもたらされた、人、モノ、情報、文化の交流になぞらえて、認定都市間の交流を一層深め、世代間の交流を活性化する必要があることを確認することができました。

コロナ禍を経て現在は、訪日外国人客数が過去最高を更新し、インターネットやSNSにより遠く離れた人々ともリアルタイムでつながるなど、世界との交流が日常化する国際大交流時代を迎える中、地域に息づく歴史的風致が、国内のみならず他国の人々からも評価され、その価値が高まっています。

今年、歴まちサミットは十一回目となり、新たなステージに踏み出しました。

我々認定都市一同は、相互に連携し、広く情報を発信して交流の輪を広げ、受け継がれた歴史と文化を未来につないでいくことを、ここに宣言します。

令和七年十一月十一日

中部歴史まちづくり認定都市一同



中部の

歴史まちづくり

## 担当イチ推し！ 歴まちフォトスポット

担当者のおすすめフォトスポットを歴まちホームページにてご紹介！  
おすすめの季節、時間帯やこだわりポイントなど詳しく解説しています！



1 犬山城下町のまちなみ

**撮影場所**  
愛知県犬山市大字犬山宇東古街

**おすすめの時間帯**  
歩行者の少ない10:00ころまでがおすすめ

**おすすめの季節**  
1年中

**こだわりポイント**  
犬山城下町では幕末から昭和史の残る商家など城下いまちなみが見られます。子格子(れんじごう)など、意匠をお楽しみください。

1 岩村町秋祭り

**撮影場所**  
岐阜県恵那市岩村町326-2付近

**おすすめの時間帯**  
御神行列の時間帯

**おすすめの季節**  
10月第1土曜日

**こだわりポイント**  
江戸時代の参籠儀に基つき、今なお続く延慶行列です。岩村城を創建したとされる加藤景康に皇子の景徳の霊が会いに行く様子です。写真は行列のありのままの姿を撮影しました。伝統的建造物と行列が一緒に写ることで、古くから続く行事であることを感じられます。

## 歴まちカード

中部のカードは全部で18種類！



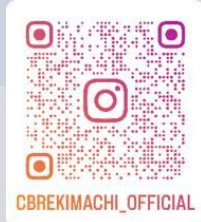
カードを収集しながら歴まち都市を巡り、それぞれの歴史・伝統・文化を見て、触れて、感じて、新たな発見をお楽しみください！



## 歴まち公式Instagram



日本まんなか歴まち協議会  
@cbrekimachi\_official



歴史まちづくりに取り組む都市の魅力やイベント情報などを写真や動画で紹介しています！

## 中部の歴史まちづくり



歴まちフォトスポットや歴まちカードのほか、歴まちの楽しみ方を紹介するホームページを公開しています。ぜひご覧ください！

# 歴史的風致の紹介

## 岡崎市の

岡崎市の代表的な歴史的風致をご紹介します。  
今回のサミット会場であるりぶらは岡崎城の北に位置しており、岡崎城郭を構成する堀付近に建っています。  
岡崎城天守の東隣には龍城神社があります。また、岡崎城公園の東側には、岡崎の夏の風物詩である花火大会との関わりも深い菅生祭の舞台・菅生神社があるなど、中心市街地は歴史的風致の集積地になっています。ぜひ地図を片手に周辺を散策してみてください。

### 岡崎城

家康公の生誕城として、江戸時代を通じて神聖視され、代々格の高い譜代大名が城主となりました。5万石の石高に対して大規模な城郭を誇り、城下を通る東海道は「二十七曲り」と呼ばれる非常に屈折の多い道筋となっています。  
明治6年(1873)の廃城令が出されると岡崎城は取り壊されましたが、旧城内の地は家康公生誕地にちなみ、「康生町」と名付けられました。

### 家康行列

家康公の遺徳をしのぶ顕彰活動の一つで、家康公や三河武士団がまちを練り歩き、華麗な時代絵巻を繰り広げます。もとは江戸時代に本多忠勝を祀る映生神社(現・龍城神社)の例祭として、岡崎藩主の指揮のもと、鎧兜を付けて隊列を組み、矢を放ち鉄砲を撃つなど戦法を鍛錬した行軍儀式が起源と伝わります。

### 大樹寺

安城松平家(徳川家の先祖)の菩提寺です。桶狭間の戦いから逃れた家康公が登壇上人の「厭離穢土欣求浄土」の教えにより自害を思いとどまり、再起の決意を固めた立志開運の寺院として知られます。家康公をはじめ、歴代将軍14代までの等身大の位牌が安置されています。  
大樹寺総門を額縁に見立て、岡崎城天守を望む歴史的眺望は「ビスタライン」として浸透し、受け継がれています。



岡崎城天守



家康行列



大樹寺多宝塔



大樹寺三門



ビスタライン

### 八丁味噌

八丁味噌は、旧東海道を挟んで立地する2軒の老舗(カクキュー、まるや)が、江戸時代初期から続く伝統製法で作る豆味噌です。原料は大豆と塩のみで、二夏二冬かけてじっくりと熟成されることにより、濃厚な旨みとコクのある独特の風味となります。岡崎人にとっては日々の生活に浸透しているかけがえのない故郷の味です。



カクキュー八丁味噌



まるや八丁味噌



味噌煮込うどん

# 史跡 犬山城跡の整備について



## ■史跡犬山城跡整備スケジュール（短期計画：令和7～16年度）

- ①大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）の整備（R7～10）
  - ②大手道遺構（黒門付近・鉄門付近の外枡形）平面表示（R11～16）
  - ③動線（大手道園路、城山東側・西側園路など）整備（R13～）
  - ④説明・案内施設（解説板、注意看板など）整備（R8～11）
- ※主なものを抜粋



史跡犬山城跡全体整備イメージ

## 大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）の整備について

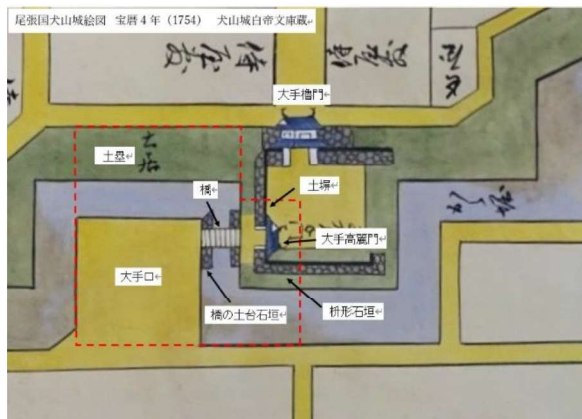
### ■犬山市福祉会館跡地の史跡としての価値

#### ①この場所にかつて存在したモノ（遺構）

土塁、堀、大手口、橋（土台）、大手高麗門、枡形石垣、土塀

#### ②この場所の持つ意味

- ・犬山城の正面玄関であり、城内と城外の境界であった大手門枡形の構造がわかる場所
- ・大手門枡形を構成する堀、土塁、大手口の規模（深さ、高さ、広さ）がわかり、犬山城の壮大さを感じられる場所
- ・本町通りから大手口に入り、橋を渡って大手門枡形内へ、そして城内へと至る往時の動線がわかる場所



犬山市福祉会館跡地における史跡としての価値

### ■整備の方向性【この場所の役割】と整備手法【例示】

#### ①史跡としての価値を発信する場所

【史跡犬山城跡解説映像、犬山城城郭復元図】

#### ②犬山城について紹介し、来訪者が学習できる場所

【解説板（堀、土塁、大手門（高麗門）など）、城郭・大手門枡形跡のさわれる立体模型】

#### ③犬山城を見学する際の起点となる場所

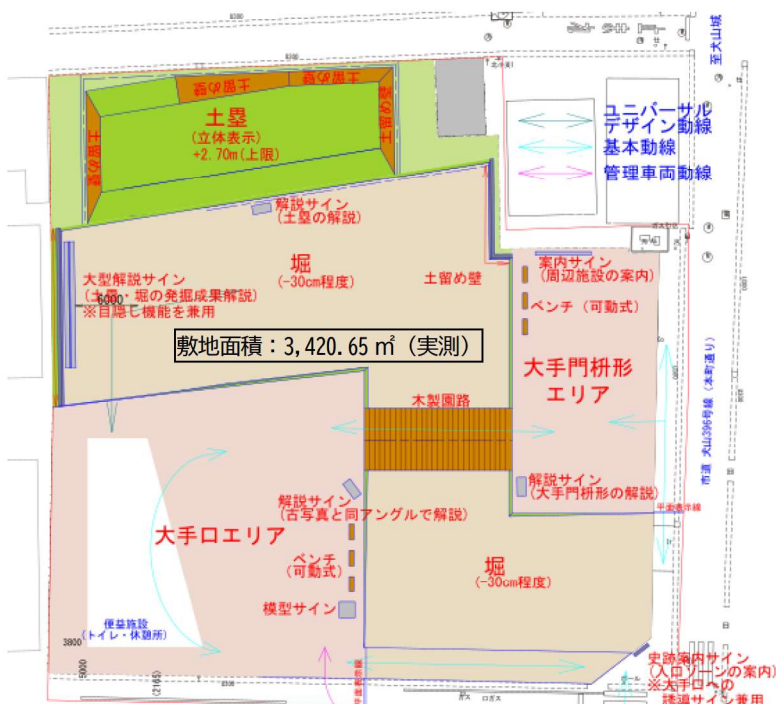
【ボランティアガイド待合場所・見学出発地、総合案内板、周辺施設案内板、休憩所（雨除け、暑さ対策）、トイレ】

#### ④江戸時代の大手口から城内へ入城ルートを体感できる場所

【往時の入城ルート再現（敷地内動線）、デジタル技術の活用】

#### ⑤堀や土塁の規模を体感できる場所

【遺構（堀・土塁、大手口）の平面表示または立体表示、土塁の高さの表示】



大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）整備計画図 ※検討中



犬山城郭絵図 元文5年（1740） 犬山市文化史料館蔵

## 便益施設の建設について

### ■受注者の選定

高度な設計力を有し、史跡指定地において史跡整備内容と調和した便益施設を設計することができる設計者を選定するため、公募型プロポーザル方式で受注候補者を決定しました。



### ■受注者の提案

歴史的景観と現代の暮らしが交差するこの場所において、訪れる人々の記憶に残る「心地よい中継点」となる休憩所をつくります。

本敷地は城と城下町をつなぐ重要な役割を果たしていました。その歴史的な接続点に、新たな建築を介在させることで、「過去と現在」「観光と日常」「まちと城」をつなぎ直す空間を構築することが本計画の核心です。

「大手口」は当時から街中の貴重な公共広場として活用されていたと考えられます。城下町と日常生活をつなぐ縁側のような存在として、多様な人々が自然に集い、休憩や交流を通じて地域の記憶と現在を重ね合わせる場を目指し、記憶と暮らしが連続する、新たな公共空間を生み出します。



外観イメージ

### ■便益施設の機能

#### ①トイレ機能

- ・ 必要な理由：犬山城周辺において公衆トイレの数が限られているため。
- ・ 整備方針：市民や親子連れ、高齢者など様々な方の利用を想定し、使いやすく気軽に立ち寄れる清潔で安心な施設とします。
- ・ 検討中の仕様：男女トイレ、だれでも使える多機能トイレ
- ・ 採用予定設備：ベビーチェア、おむつ替え台、オストメイト設備 など

#### ②休憩所機能

- ・ 必要な理由：酷暑などに際してスポット的に休める空間が必要なため。
- ・ 整備方針：来訪者だけでなく周辺にお住まいの方の日常的な憩いの場としても使える空間とすることを目指します。
- ・ 検討中の仕様：室内ベンチ、深い軒下の屋外ベンチ

#### ③展示機能

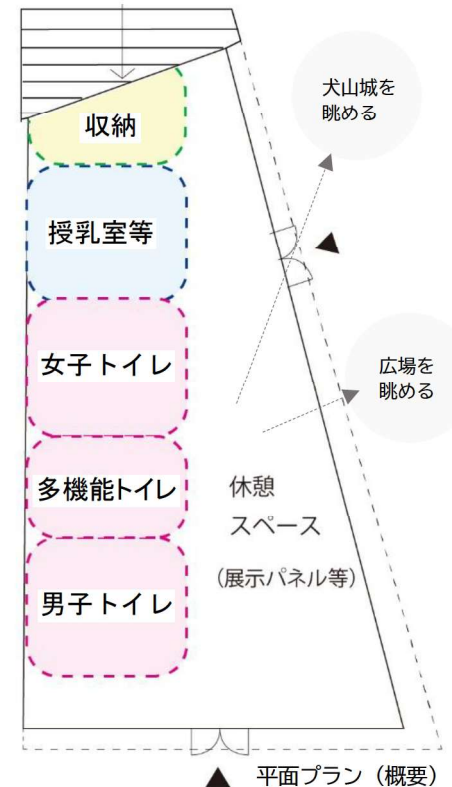
- ・ 必要な理由：屋外の史跡展示を補足し、犬山城全体の理解を促進するため。
- ・ 整備方針：休憩に訪れた方にも分かりやすく史跡犬山城跡の魅力を伝えられる展示とします。
- ・ 検討中の仕様：展示パネル、映像投影、さわられる史跡模型 など

#### +屋上活用

- ・ 必要な理由：史跡の理解のため屋上から現在の風景を俯瞰しながら、同時に往時の入城ルートや堀・土塁の構造を重ね合わせるように見学することができます。
- ・ 整備方針：史跡の整備範囲や犬山城天守を安全に眺められる場とします。

#### +その他の機能

- ・ 授乳室、多目的室(パニックを起こしやすい方の休養などにも使える小部屋)



▲ 平面プラン (概要)



内観イメージ

展示イメージ



鳥瞰イメージ



### ■大手門枡形跡 (犬山市福祉会館跡地) 整備スケジュール

- ▼令和7年度・・・基本設計
- ▼令和8年度・・・実施設計
- ▼令和9～10年度・・・建設工事
- ▼令和11年4月頃・・・供用開始



枝町車山蔵（工事前）

町内会から景観重要建造物の提案をいただいた枝町の犬山祭車山蔵を令和7年5月に景観重要建造物に指定しました。  
現在、景観形成助成金を活用した改修工事を行っています。

# 景観重要建造物に指定しました！

## まちなみ便り

R7.7月号  
発行 犬山市

### 景観重要建造物とは？

景観重要建造物指定の制度は、地域の良好な景観を形成している建造物を適正に守り育むという観点から設けられたもので、これまでに犬山祭の車山蔵を順次指定しています。

景観重要建造物に指定された建物は景観形成助成金の対象となり、外観に係る改修工事費などの支援を受けることができます。

### 〈景観重要建造物の指定状況〉

- ① 車山蔵（本町）
- ② 車山蔵（熊野町）
- ③ 車山蔵（魚屋超）
- ④ 車山蔵（新町）
- ⑤ 車山蔵（練屋町）
- ⑥ 車山蔵（枝町）

## 歴史的な建物の改修には補助金を使える場合があります！

歴史的な建物の改修に使える主な補助金を2種類ご紹介します。

どちらの補助金にも条件や予算の限りがあり、着工予定の前年の6月末には担当の課へ工事の計画についてご相談いただく必要がありますのでご注意ください。詳しくは担当課までお問合せください。

### 犬山市景観形成助成金

担当課：都市計画課

#### 【対象になる建物等】（※）

- ・景観形成促進地区内の建築物及び工作物
- ・歴史的建築物 など

#### 【対象になる工事】

- ①道路から見える部分の改修で、景観計画で定めるルールに適合するもの
- ②土台や柱などの構造上重要な部材の修繕

#### 【補助金の額】

- ①の工事費の2/3、②の工事費の1/3、  
（①と②の合計額の上限は300万円）

### 犬山市文化財保存事業費補助金

担当課：歴史まちづくり課

#### 【対象になる建物等】（※）

- ・登録有形文化財建造物
- ・歴史的風致形成建造物 など

#### 【対象になる工事】

- ①建物外部(屋根や外壁など)の修繕で、文化財的価値を保存する工事と認められるもの
- ②土台や柱などの構造上重要な部材の修繕

#### 【補助金の額】

- ①と②の合計額の2/3（上限500万円）



◀景観形成促進地区（および景観形成助成金）のHP  
ページ番号 1001221



◀文化財保存事業費補助金のHP  
ページ番号 1001082

※それぞれの指定状況については各担当課にお問合せください。建物の建築年代や様式などの状態によっては追加の指定ができる場合がありますので、ご相談ください。

今年度も犬山城下町の屋外広告物景観の保全のため、屋外広告物アドバイザーの協力を得て、城下町の現地確認を実施しました。屋外広告物設置の際には「犬山城下町屋外広告物ガイドライン」をご確認ください。また、屋外広告物の設置をご検討の際は、ぜひ都市計画課までご相談ください。

R7.5.24

屋外広告物パトロールを  
実施しました！

CHECK!



犬山城下町  
屋外広告物  
ガイドライン  
HP  
ページ番号 1005901

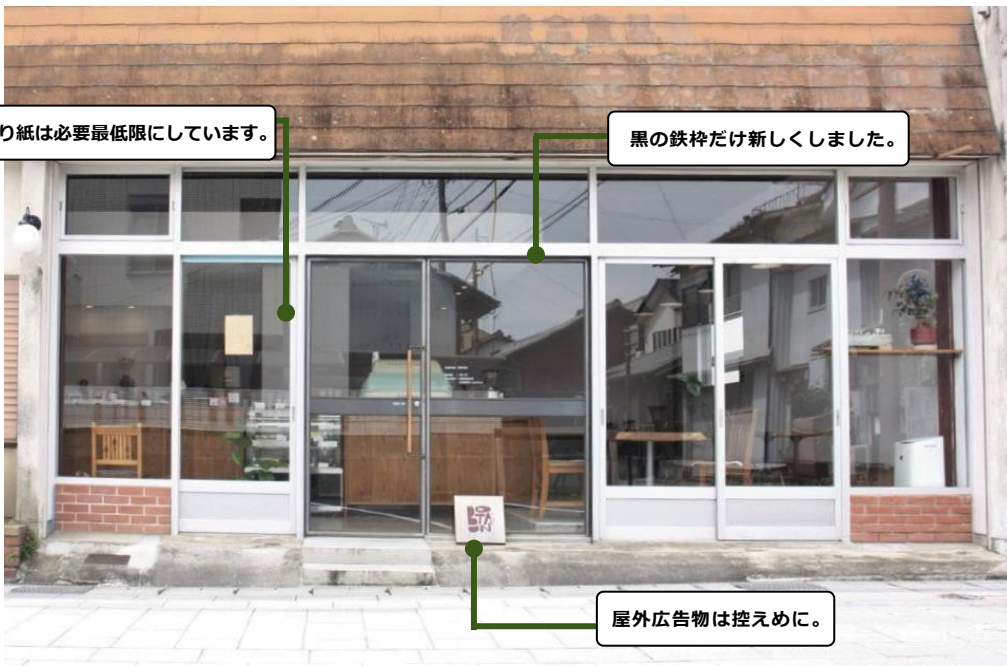


# 犬山城下町 屋外広告物案内

No.001

## 引き算の美学

「看板は、下本町にある看板屋 Sunny nap さんに相談しました。最初はガラス戸に大きく店名を入れようと思っていましたが、無い方がいいんじゃないですかと言われて。」と大前良平さん。「でも、さすがに何も無いのはお客さんも困るだろうと思って、控えめな木の看板を置くことにしました。」



北熊野町

珈琲ボタン

「Sunny nap さんも必要最低限の情報を置くだけでいいんじゃないかって。僕たちもそういうのが好きなので。なるべくシンプルにしたいなっていうので、この形に落ち着きました。」

## 犬山の人と祭り

「元々お店をやるつもりはなかったんです。」と語る和恵さん。13年くらい前に犬山が気に入って引っ越しをしてから、犬山の人たちとの様々な素敵なお縁があって、コーヒーの仕事をすることになったそう。「祭りがあるのは大きいと思う。祭りが人を繋げている感じがする。人も温かいし気にかけてくれて、みんなに支えられてきました。」

## 城下町のこれから

「僕らくらいの若い世代の人にどんどんお店をやってほしい。」と良平さん。「個人事業で新しいお店をやりたいう人に集ってもらえたら、町も活気づくし、まちに住んでる人も面白くなる。それに、仲間が増えると僕らも嬉しいので。」

景観重要建造物の改修工事が完了しました！

犬山城下町  
まちなみ便り

R8.1月号  
発行 犬山市

令和7年5月に景観重要建造物に指定した枝町の犬山祭車山蔵の改修工事が完了しました。改修工事には景観形成助成金を活用しています。

景観形成助成金は対象となる建築物などの、景観計画で定める城下町ゾーンのルールに適合するための改修工事などにも活用することができま

す。景観形成助成金を活用したい場合は、お早めに都市計画課へご相談ください。

対象となる建築物など

- ・ 景観重要建造物
- ・ 歴史的建築物
- ・ 景観形成促進地区内の建築物や工作物



◀景観形成促進地区（および景観形成助成金）のHP  
ページ番号 1001221



改修後



改修前

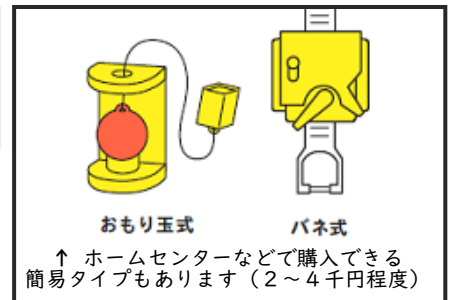
建物の防火対策を見直しましょう！

城下町には歴史的な町家などの古い建物が多いことに加えて、隣家との間隔も狭い場合が多く、適切な防火対策が特に重要となります。一年でもっとも空気が乾燥するこの時期、ご紹介する市の支援策を参考に建物の防火対策の見直しをしましょう！

感震ブレーカー設置費補助金  
(所管：防災交通課)

感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知して電気の流れを自動的に止める装置です。不在時や、ブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

- 補助対象者 市内で自ら所有または居住する住宅に感震ブレーカーを設置した方
- 補助対象製品 一般社団法人日本消防設備安全センターなどの認証を有する製品
- 補助金額 感震ブレーカーの購入と設置にかかる費用の2分の1（上限1万円）

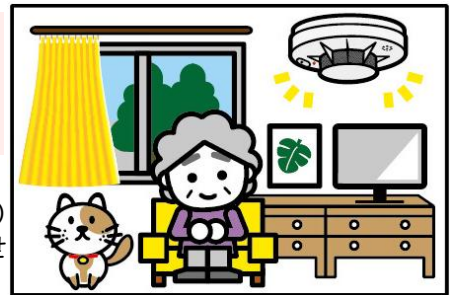


↑ ホームセンターなどで購入できる簡易タイプもあります（2～4千円程度）

住宅用火災警報器の取付け支援  
(所管：消防本部予防)

原則すべての住宅には住宅用火災警報器の設置が義務化されています。すでに設置された製品についても、正しく作動するか定期的な点検を行い、10年を目安に交換を行いましょう。

- 支援内容 お住まいの住宅に消防職員が無料で住宅用火災警報器の取付け作業を行います。（住宅用火災警報器は申請者でご用意ください。）
- 支援対象 65歳以上の方のみの世帯、身体障害者手帳をお持ちの方のみの世帯、または消防長が自ら取り付けを行うことが困難と認める方



◀感震ブレーカー設置費補助事業のお知らせのHP  
(ページ番号 1005842)



◀住宅用火災警報器の取付け支援のご案内のHP  
(ページ番号 1011245)

■ 補助・支援の内容は下記にお問合せください  
防災交通課（防災担当）：0568-44-0346  
消防本部予防課（予防担当）：0568-65-3123

# 「街歩き」を実施しました！

9/22 に愛知県及び関係市町の屋外広告物行政担当者と愛知県広告美術業協同組合の組合員で「街歩き」を実施し、屋外広告物の現地確認・意見交換等を行いました。広告業界10名、事務局2名、行政職員16名、総勢28名の方々にご参加いただきました。

意見交換では、参加者から様々な意見をいただきましたので、ご紹介します！

のれんや木の看板は城下町の雰囲気にあって良いと思います



情報も A 看板にまとまっています

暖簾と文字の書体が街並みと合っていて素敵です

のぼり旗が多く、歩道に出ているところもありますね



のれんや木の看板に対して、好印象の意見が多く見受けられました。最小限の文字でシンプルな看板も、古い建物を引き立てており印象が良いと感じる方が多いようです。一方で、のぼり旗が多いという意見や、建物に対して文字が大きくなるという意見もありました。

屋外広告物を設置する際は、ガイドラインを確認してみましょう！



犬山城下町  
屋外広告物  
ガイドライン HP  
ページ番号 1005901

# 「犬山城下町らしさ」をみんなで守っていきましょう！

犬山城下町には、江戸時代の町割り「総構え」が残っており、幕末から昭和初期に建てられた歴史的な趣の残る町家など、当時の面影を残した美しいまちなみが見られます。虫籠窓(むしこまど)、連子格子(れんじごうし)、熨斗面戸(のしめんど)などの意匠を持ち、切妻平入りを基本とした平屋・厨子二階(つしにかい)・バンコ二階・本二階の町家が軒を連ねます。また、軒を船桧造り(せがいづくり)とした風格のある町家が見られるのも特徴の一つです。

## ■厨子二階(つしにかい)

2階の天井が低く、虫籠窓がある建築物。江戸時代から明治時代に流行った様式で、大名行列を見下ろさないよう2階の天井が低く抑えられていた。

## ■バンコ二階

2階の天井が低く、表側のみ部屋が造られ、背面は小屋裏で厨子二階から本二階になる中間的な造り。

## ■本二階(ほんにかい)

軒高を高くし、2階の正面側と背面に部屋を設けた造り。明治末期以降に見られる。

## ■連子格子(れんじごうし)

窓や扉の一部などに立て並べてはめこんだ木または竹の格子のこと。

旧磯部家住宅



## ■虫籠窓(むしこまど)

虫籠(むしかご)のように目を細かく組んだ格子をはめた窓。窓枠などを漆喰塗として防火構造にしたもの。

## ■熨斗面戸(のしめんど)

土居のし瓦の継ぎ目の雨仕舞に漆喰を用い、市松模様に見えるようデザインされたもの。



## ■船桧造り(せがいづくり)

日本の伝統的な建築様式で、軒などを腕木で持ち出して深く張り出す工法。

犬山橋竣工100周年記念企画展

# 犬山木橋

## 2025.12.4 (木) ▶ 2026.1.28 (水) -View of INUYAMA BRIDGE-

会場：城とまちミュージアム 展示室2

開館時間：9時～17時（最終入館16時30分）

入館料：一般300円（中学生以下無料）

団体（30名以上）240円

※IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房との共通券

犬山城下町周遊券760円

※犬山城＋城とまちミュージアム

+IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房＋どんでん館

### 〔交通案内〕

#### ●電車

名鉄犬山線「犬山駅」または「犬山遊園駅」下車、徒歩15分

#### ●車

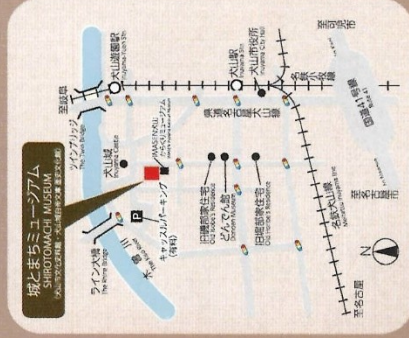
名神高速「小牧I.C.」から国道41号線へ、「五郎丸」立体交差点より10分

#### ●駐車場

城とまちミュージアム北側駐車場8台

※うち軽自動車専用2台、障がい者専用2台

※大型バスはキャスパーキング（有料）をご利用下さい



犬山市文化史料館

〒484-0082

愛知県犬山市犬山字北古券8

TEL&FAX 0568-62-4802



城とまちミュージアム

公式Facebookページ

QRコード

# 犬山橋 View of INUYAMA BRIDGE

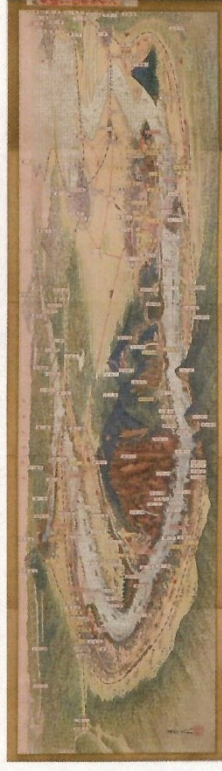
大正14(1925)年11月に犬山橋が竣工してから、今年で100周年を迎えました。犬山橋が架けられている場所は、かつて人や物資を運んだ「内田の渡し」と呼ばれる渡船場があり、木曽川により隔られた愛知県犬山市と岐阜県各務原市(鶯沼)を結ぶ要衝の地でした。

明治～昭和初期にかけて全国的に広がりを見せっていた鉄道交通網や商工業の発展性が注目される中、犬山橋は地元の人々の願いのもと架橋されました。以降、全国でも珍しい鉄道と道路の併用橋として平成12(2000)年まで利用され、現在は鉄道専用の橋となっています。

本展では、大正期に建設された橋の構造を引き継ぎ、犬山城や木曽川とともに犬山観光のシンボルとして美しい姿をのこし続ける犬山橋の歴史や風景の移り変わりを紹介します。



古写真 犬山橋架設式 大正14 犬山市文化史料館蔵



大観せる日本ライン 昭和11 金子常光画 犬山市文化史料館蔵

## ●イベント情報●

【展示解説】 12月7日(日)、1月11日(日) 各日11:00～

【ワークショップ:古写真とぶらり犬山橋を歩く】(雨天中止)

犬山遊園駅～犬山橋～ライン大橋(約2キロ)の木曽川沿いを古写真と見比べながらゆっくり歩き、風景の移り変わりを楽しみます。

12月20日(土) 9:30～11:00(定員10名程度) 集合場所:犬山遊園駅

参加費:100円 対象:高校生以上

※申込・問合せは犬山市文化史料館(0568-62-4802・9:00～17:00)まで

申込期間:12/1(月)～12/18(木) 先着順・定員になり次第締切



左:橋起工式買物帳 大正12  
右:渡橋工式買物帳 大正14  
魚屋町蔵



絵葉書 麗はしの眺め(部分) 昭和初期 犬山市文化史料館蔵